

都市機能誘導区域 検討資料

	都市計画図重ね	都市機能施設立地状況図重ね	上位計画・現況・方向性等
<div>都市機能誘導区域 1</div> <div>(所沢駅周辺)</div> <div>約 85ha</div> <div>【設定理由】</div> <div>○広域中心拠点</div> <div>○生活圈（駅勢圏）</div>			<div>【都市マスの位置づけ】</div> <div>○広域中心拠点</div> <div>○生活圈の中心駅</div> <div>【用途地域】</div> <div>○商業地域・近隣商業地域・第一種住居地域・第二種中高層住居専用地域</div> <div>【都市機能立地状況】</div> <div>○駅を中心に行政機能、介護福祉機能、子育て機能、商業（業務）機能、医療機能、金融機能、教育文化機能及び交流機能など幅広い分野にわたる多くの施設が立地</div> <div>【災害リスク】</div> <div>○浸水リスクあり ⇒防災指針で対応 (Lv 1) 多くが 0.5m 未満、一部に 0.5m～2m あり (Lv 2) ほとんどが 1m 未満、一部に 1m～2m あり</div> <div>○土砂災害リスクなし</div> <div>○延焼クラスターなし</div> <div>【区域の方向性】</div> <div>○本市の広域中心拠点かつ生活圈の中心駅であり、都市機能を引き続き維持するとともに、さらなる充実をめざす。</div>
<div>都市機能誘導区域 2</div> <div>(新所沢駅周辺)</div> <div>約 54ha</div> <div>【設定理由】</div> <div>○広域生活拠点</div> <div>○生活圈（駅勢圏）</div>			<div>【都市マスの位置づけ】</div> <div>○広域生活拠点</div> <div>○生活圈の中心駅</div> <div>【用途地域】</div> <div>○商業地域・近隣商業地域・第一種住居地域・第二種住居地域・第一種中高層住居専用地域・第一種低層住居専用地域</div> <div>【都市機能立地状況】</div> <div>○駅を中心に行政機能、介護福祉機能、子育て機能、商業機能、医療機能、金融機能などの施設が多く立地</div> <div>【災害リスク】</div> <div>○浸水リスクなし</div> <div>○土砂災害リスクなし</div> <div>○延焼クラスターなし</div> <div>【区域の方向性】</div> <div>○市内に唯一の施設（こどもと福祉の未来館）が立地しているなど、広域生活拠点かつ生活圈の中心駅として、都市機能を引き続き維持するとともに、さらなる充実をめざす。</div>

※浸水リスクは、Lv1 は計画規模（1/100）、Lv2 は想定最大規模（1/1,000）

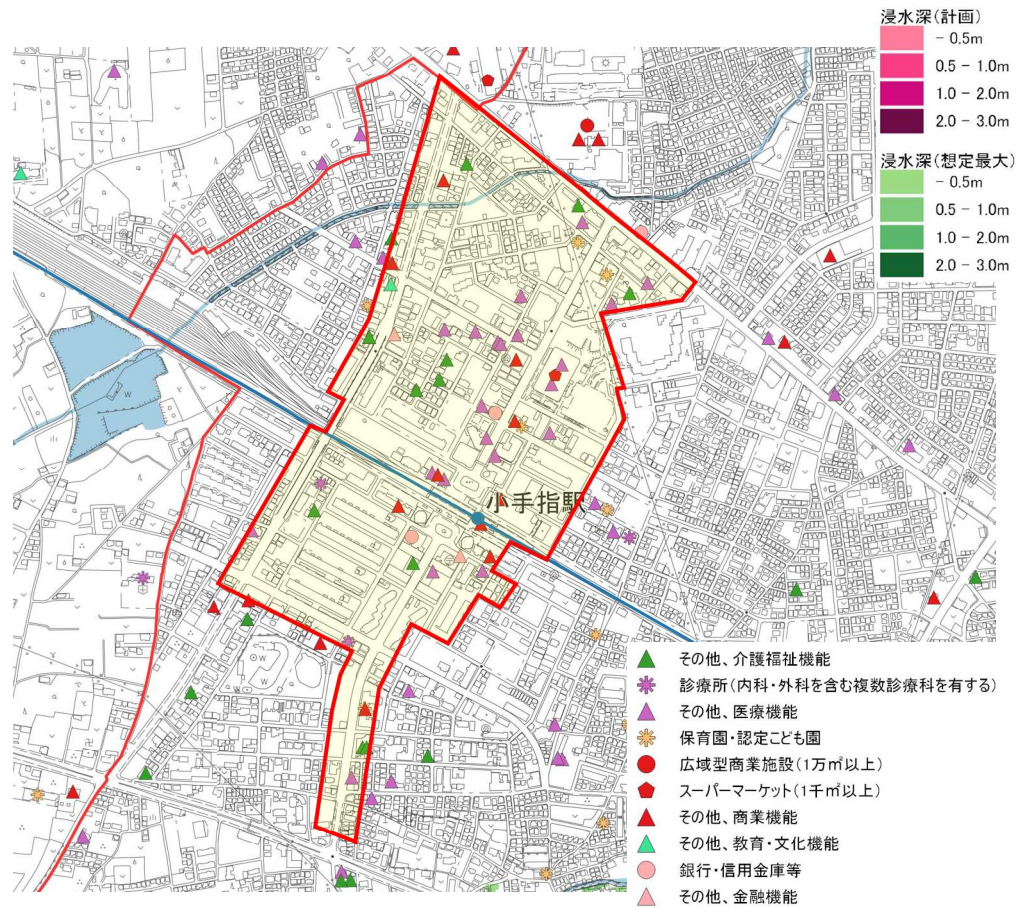
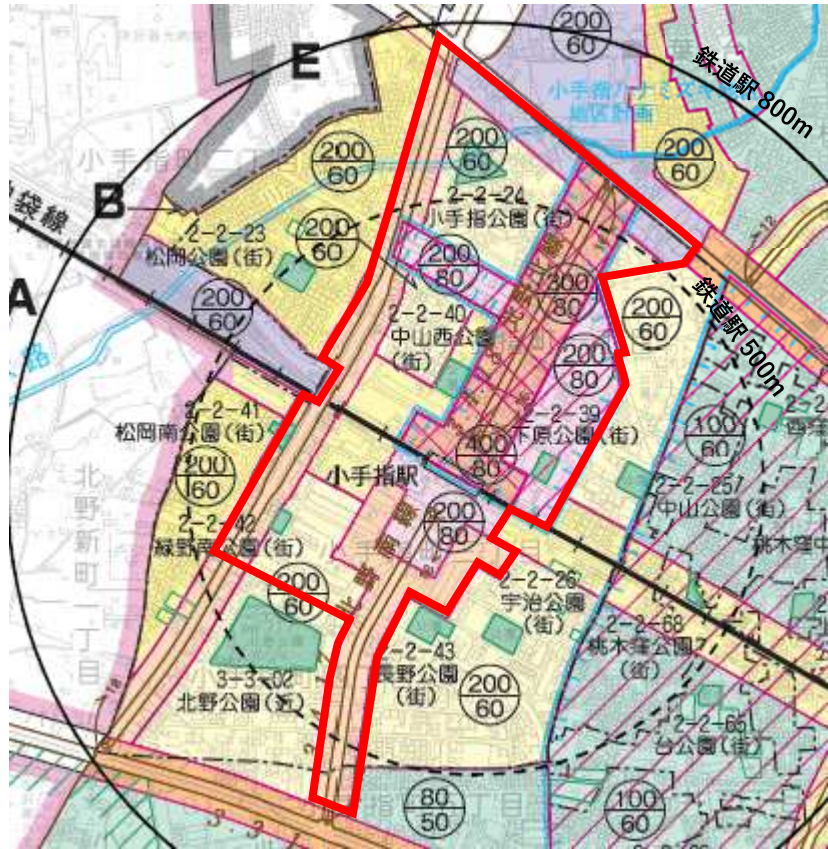
都市機能誘導区域3

(小手指駅周辺)

約 43ha

【設定理由】

○生活圏（駅勢圏）



【都市マスの位置づけ】
○広域生活拠点
○生活圏の中心駅
【都市計画】
○市街化区域
○商業地域・近隣商業地域・第一種住居地域・第二種住居地域・第二種中高層住居専用地域・準工業地域
【都市機能立地状況】
○駅を中心に行政施設（まちセン分館）、介護福祉施設、子育て施設、商業施設、医療施設、金融機関などが多く立地
【災害リスク】
○浸水リスクなし
○土砂災害リスクなし
○延焼クラスターなし
【区域の方向性】
○広域生活拠点かつ生活圏の中心駅として、都市機能を引き続き維持するとともに、さらなる充実をめざす。また、立地していない都市機能については、誘導をめざす。

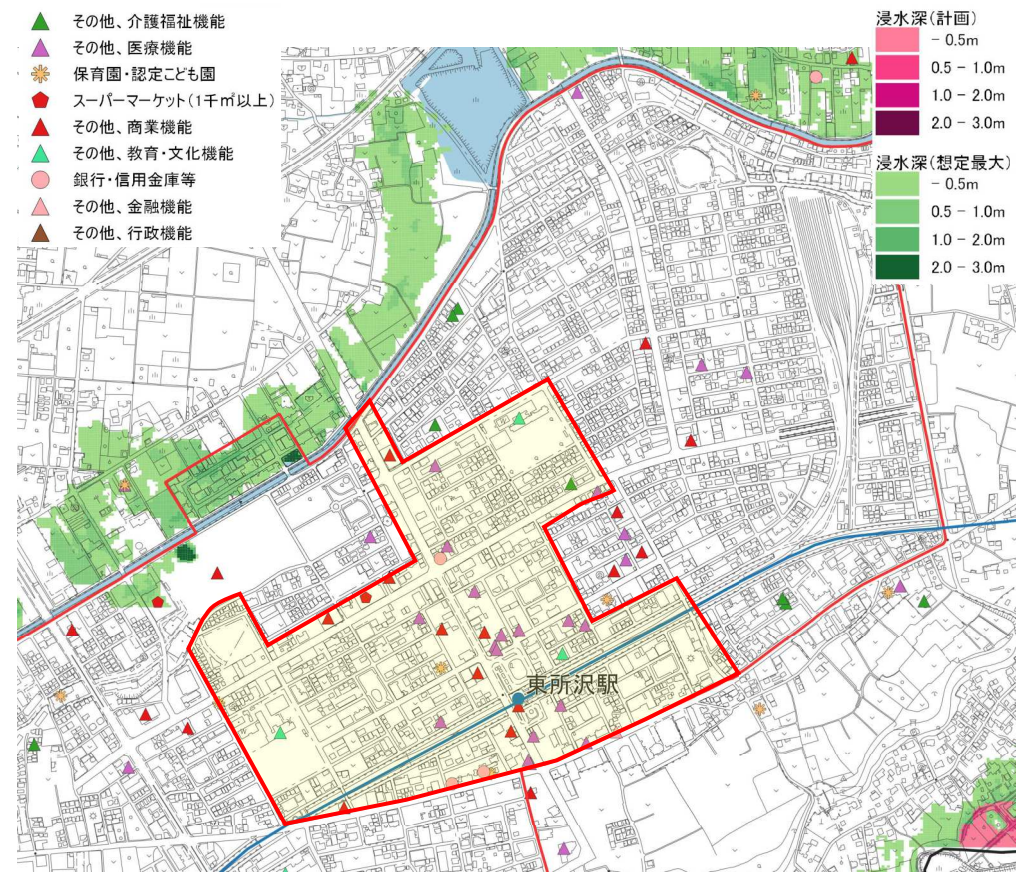
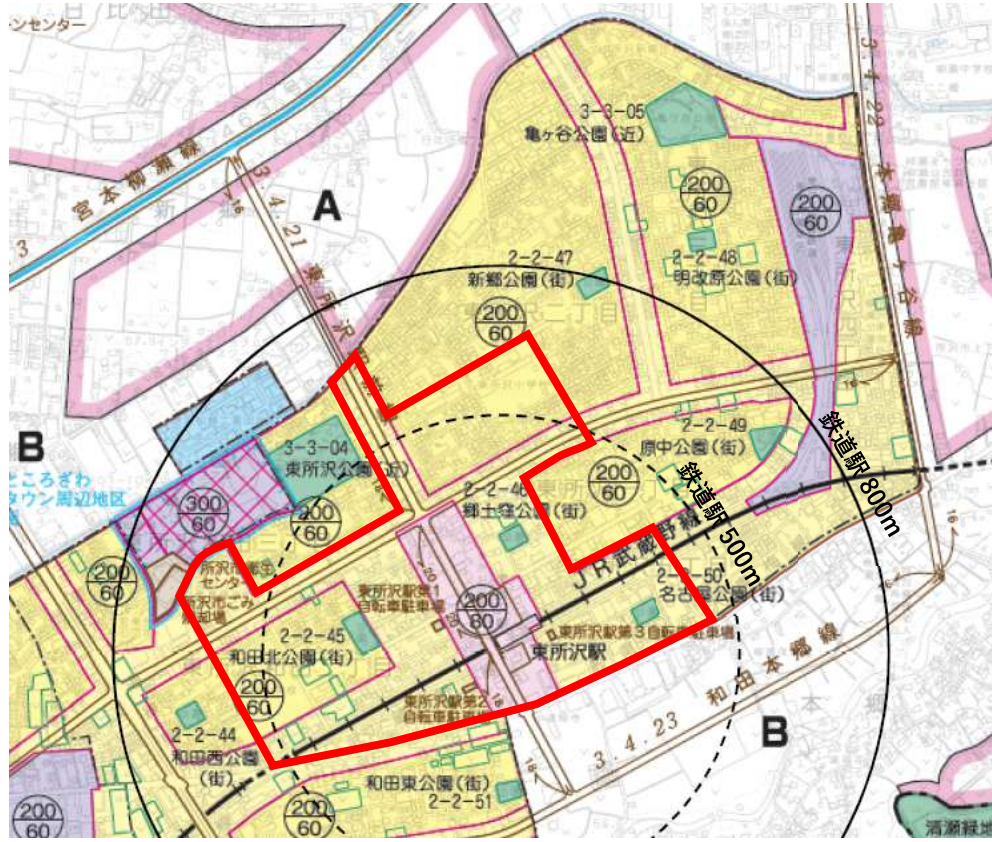
都市機能誘導区域4

(東所沢駅周辺)

約 49ha

【設定理由】

○生活圏（駅勢圏）



【都市マスの位置づけ】
○広域生活拠点
○生活圏の中心駅
【都市計画】
○市街化区域
○近隣商業地域・第一種住居地域・第一種中高層住居専用地域
【都市機能立地状況】
○駅を中心に主に商業施設及び医療施設などが立地
【災害リスク】
○浸水リスクなし
○土砂災害リスクなし
○延焼クラスターなし
【区域の方向性】
○市内唯一のＪＲ駅であり、ところざわサクラタウンの立地や都市高速鉄道 12 号線の延伸が答申されているなど、ポテンシャルの高い区域であることから、広域生活拠点かつ生活圏の中心駅として、都市機能を引き続き維持するとともに、さらなる充実をめざす。また、立地していない都市機能については、誘導をめざす。

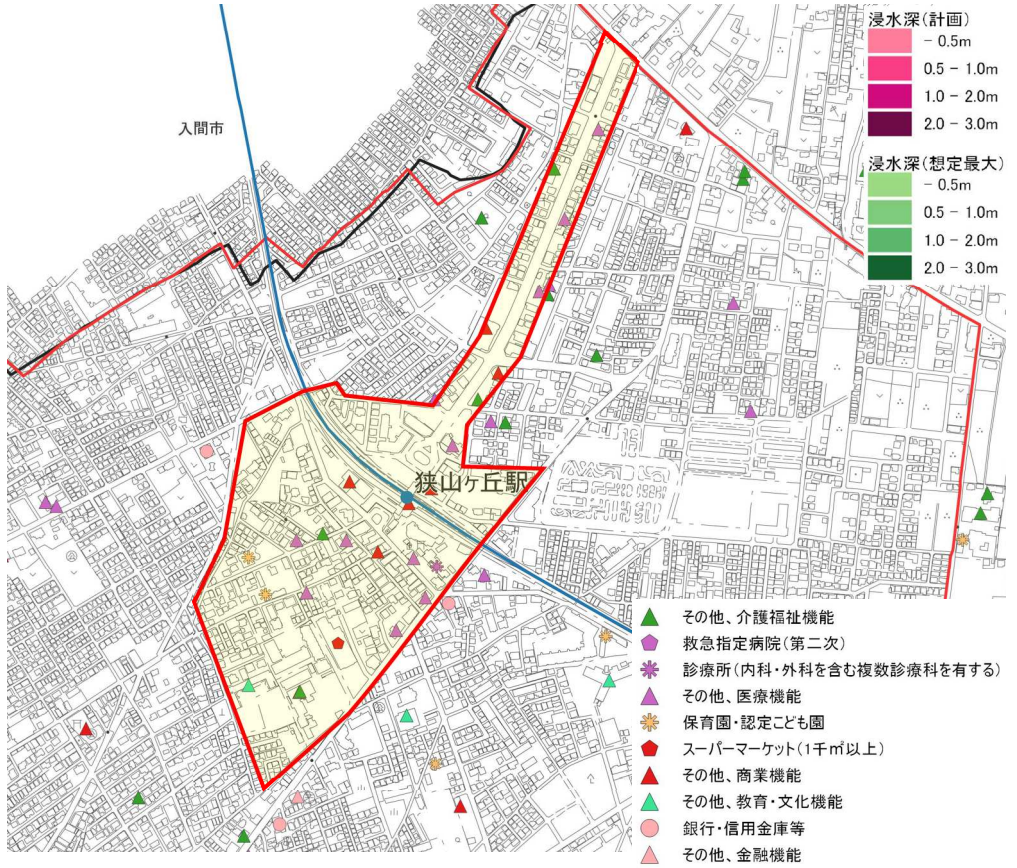
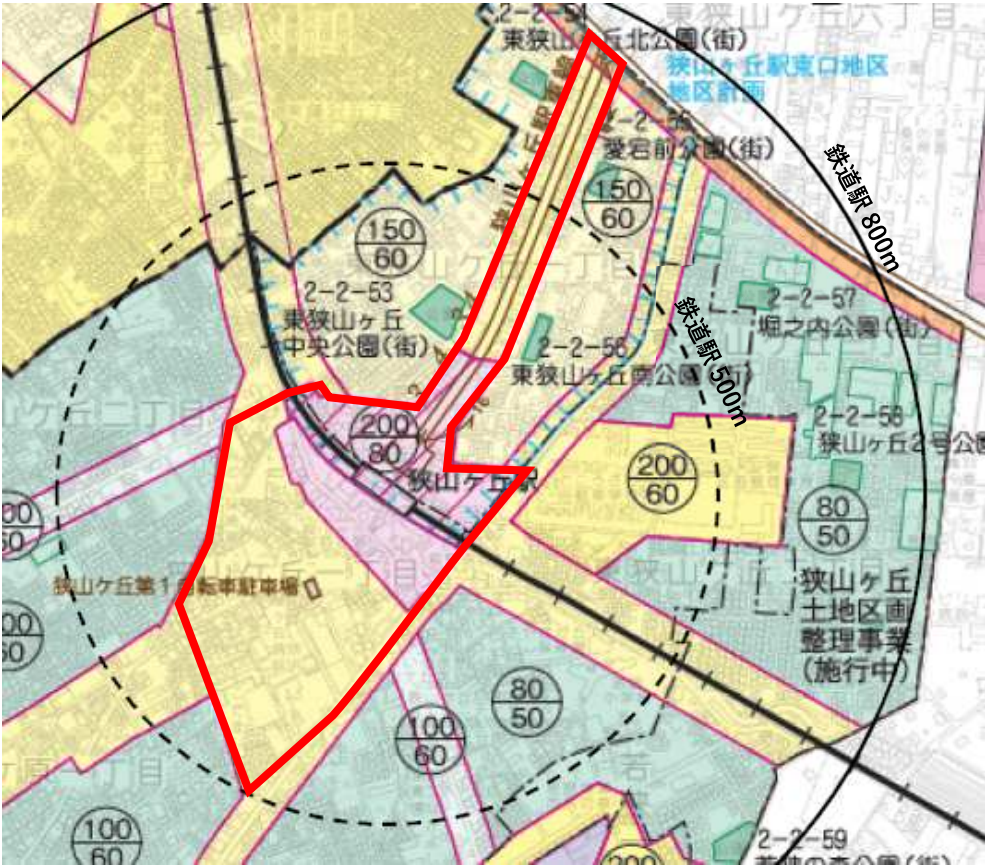
都市機能誘導区域 5

(狭山ヶ丘駅周辺)

約 23ha

【設定理由】

○生活圏（駅勢圏）



【都市マスの位置づけ】

○地域生活拠点
○生活圏の中心駅

【都市計画】

○市街化区域
○近隣商業地域・第一種住居地域

【都市機能立地状況】

○駅を中心に行政施設（コミセン）、介護福祉施設、子育て施設、商業施設、医療施設が立地

【災害リスク】

○浸水リスクなし
○土砂災害リスクなし
○延焼クラスターなし

【区域の方向性】

○地域生活拠点かつ生活圏の中心駅として、引き続き都市機能を維持するとともに、さらなる充実をめざす。

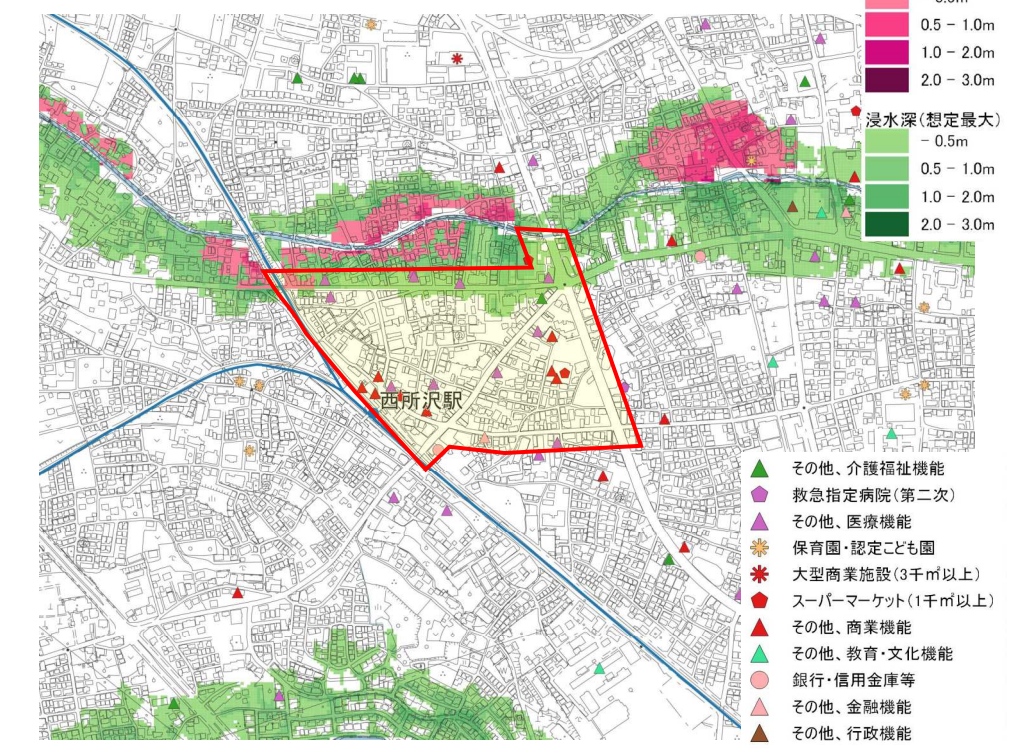
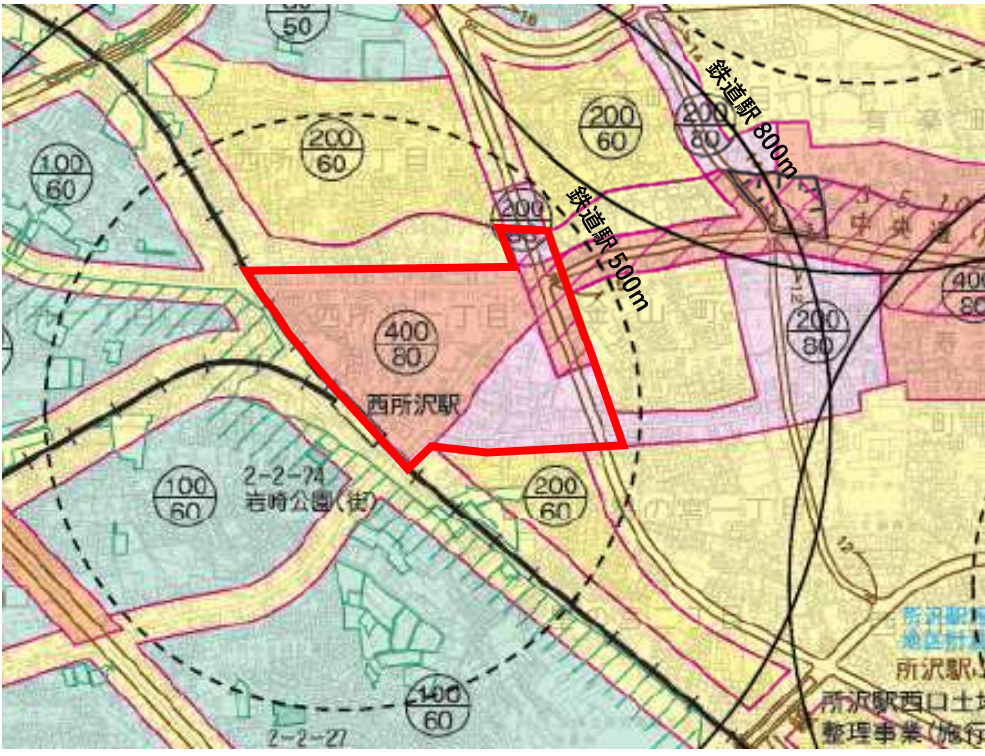
都市機能誘導区域 6

(西所沢駅周辺)

約 14ha

【設定理由】

○土地利用の状況



【都市マスの位置づけ】

○地域生活拠点

【都市計画】

○市街化区域
○商業地域・近隣商業地域

【都市機能立地状況】

○駅を中心に商業施設、医療施設及び金融機関が立地

【災害リスク】

○浸水リスクあり ⇒防災指針で対応
(Lv 1) 0.5m 未満、
(Lv 2) 1m 未満

○土砂災害リスクなし
○延焼クラスターなし

【区域の方向性】

○地域生活拠点かつ生活圏の中心駅として、引き続き都市機能を維持するとともに、さらなる充実をめざす。

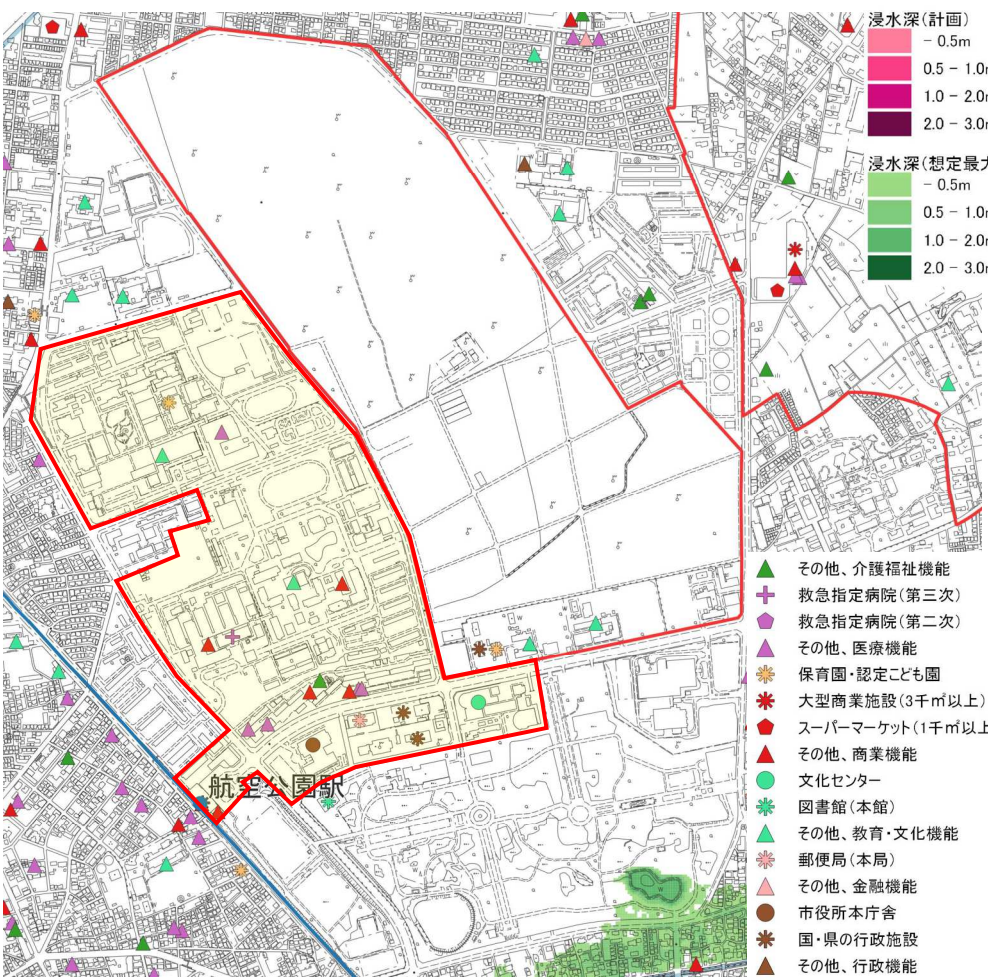
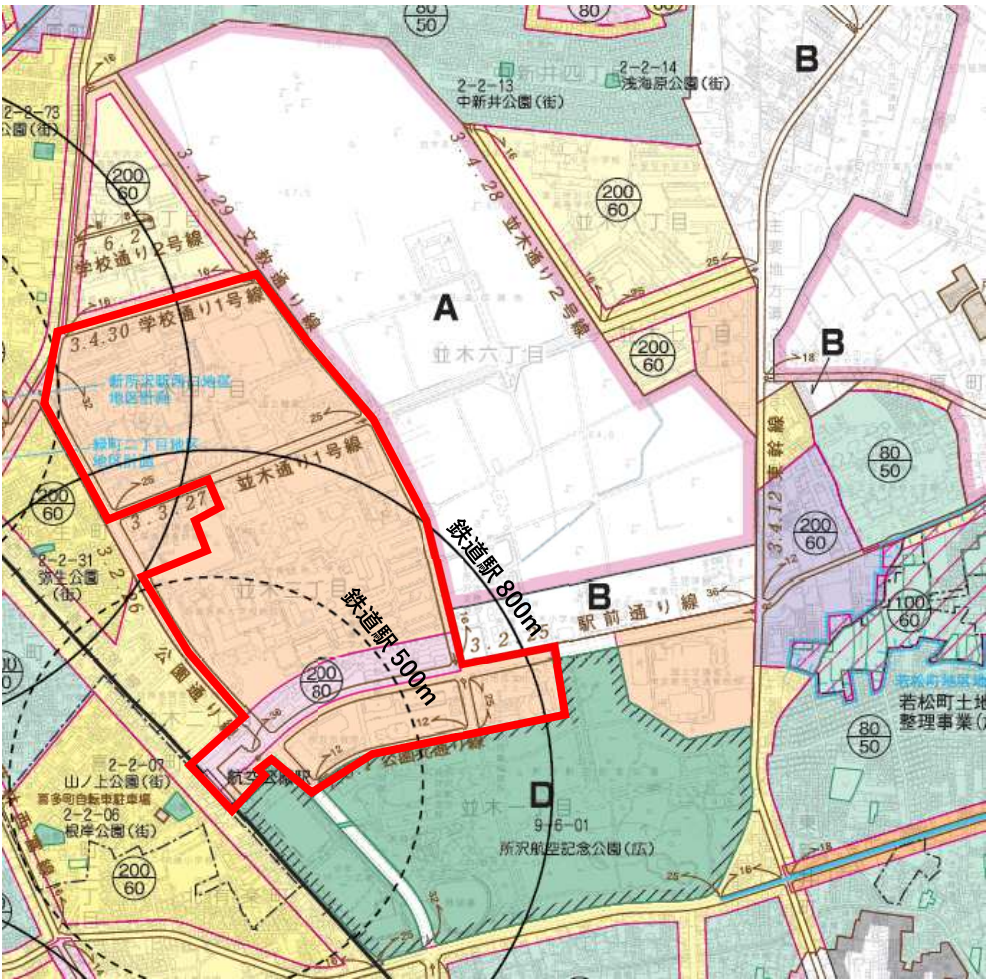
都市機能誘導区域 7

(航空公園駅周辺)

約 73ha

【設定理由】

○土地利用の状況



【都市マスの位置づけ】

○地域生活拠点

○行政拠点

【都市計画】

○市街化区域

○近隣商業地域・第二種住居地域

【都市機能立地状況】

○駅周辺に市役所をはじめとした多くの主要行政施設、大規模医療・研究施設及び文化ホールが立地

【災害リスク】

○浸水リスクなし

○土砂災害リスクなし

○延焼クラスターなし

【区域の方向性】

○本市の主要な行政機能の多くが集積して立地している地区であり、行政拠点及び地域生活拠点として、都市機能を引き続き維持するとともに、さらなる充実をめざす。

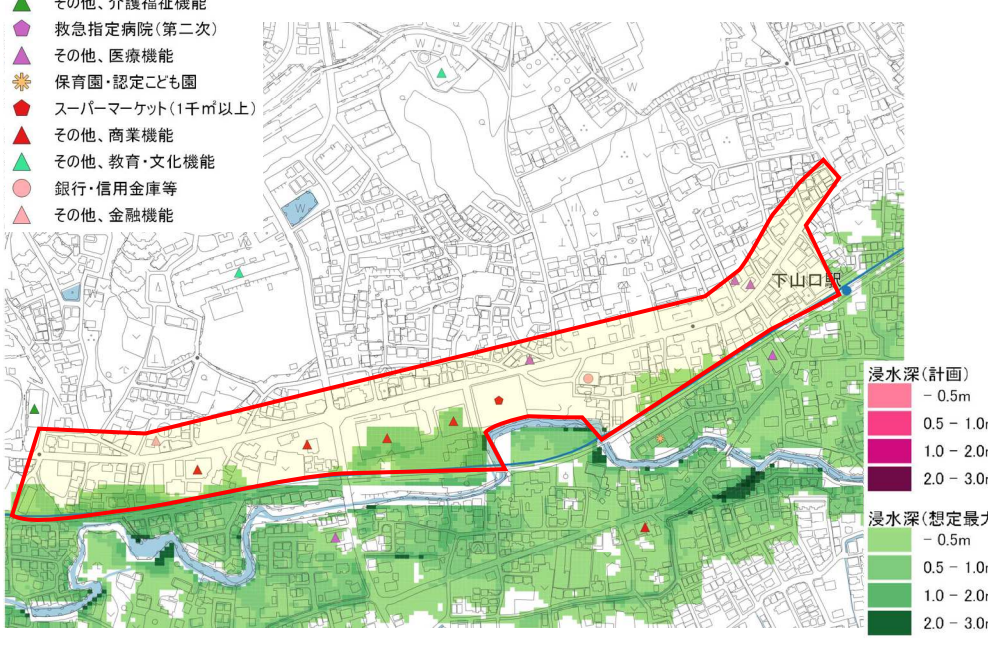
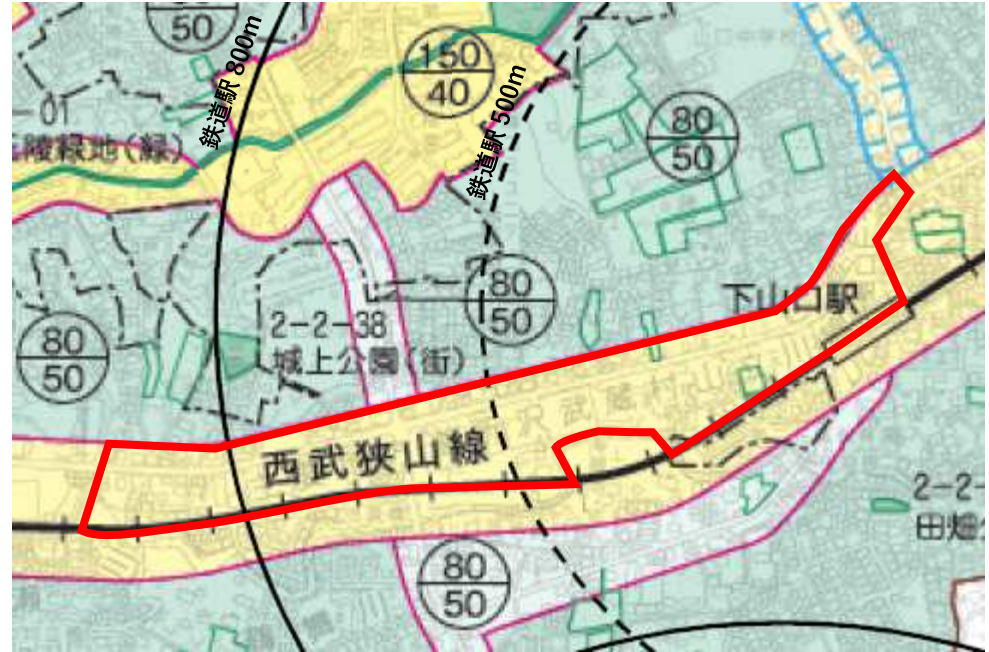
都市機能誘導区域 8

(下山口駅周辺)

約 10ha

【設定理由】

○土地利用の状況



【都市マスの位置づけ】

○日常生活拠点

【都市計画】

○市街化区域

○第一種住居地域

【都市機能立地状況】

○駅から少し離れた県道（主要地方道 所沢武蔵村山立川線）沿いに銀行やスーパーマーケット等の商業施設が立地

【災害リスク】

○浸水リスクあり ⇒防災指針で対応

(Lv 1) なし

(Lv 2) 1m 未満

○土砂災害リスクなし

○延焼クラスターなし

【区域の方向性】

○日常生活拠点として、日常生活に必要なサービス機能を引き続き維持するとともに充実をめざす。